

令和5年度 高等学校全日課程教育課程

令和4、5年度入学生教育課程表

教科	科目	学年		2年				3年			
		クラス	選抜・進学	選抜・進学				選抜・進学			
		類型		文系Ⅰ	文系Ⅱ	文系Ⅲ	理系	文系Ⅰ	文系Ⅱ	文系Ⅲ	理系
		標準単位数									
国語	現代の国語	2	2								
	言語文化	2	2								
	論理国語	4		3	3	3		2	2	2	
	文学国語	4		2	2	2		3	3	3	
	国語表現	4									
	古典探究	4		3	3	3		2	2	2	
	受験国語演習*							1			(1)
	理系国語*						2				
	国語総合演習*		(1)								
国語合計		4	8	8	8	2	8	7	7	0	
地理歴史	地理総合	2	2								
	歴史総合	2	2								
	世界史探究	3		③	③	③		⑤	⑤	③	
	日本史探究	3		③	③	③		⑤	⑤	③	
公民	公共	2		2	2	2	2				
	政治・経済	2						(2)			
	地歴公民合計		4	5	5	5	2	5	5	3	0
数学	数学Ⅰ	3	3								
	数学Ⅱ	4		4	2	2	4		2	2	
	数学Ⅲ	3									(3)
	数学A	2	2								
	数学B	2					2				
	数学C	2					2				
	理系受験数学*										4
	受験数学ⅠA*							(2)			
	受験数学ⅡBC*							(2)			
数学ⅠA演習*		(1)									
数学合計		5	4	2	2	8	0	2	2	4	
理科	科学と人間生活	2		2	2	2					
	物理基礎	2					2				
	物理	4									⑥
	化学基礎	2	2								
	化学	4					3				3
	生物基礎	2					2	(2)			
	生物	4									⑥
	理科演習*										(2)
理科合計		2	2	2	2	7	0	0	0	9	
保健体育	体育	7~8	3	2	2	2	2	2	2	2	2
	保健	2	1	1	1	1	1				
	武道*	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	保健体育合計		5	4	4	4	4	3	3	3	3
芸術	音楽Ⅰ	2		②	②	②	②				
	音楽Ⅱ	2									②
	美術Ⅰ	2		②	②	②	②				②
	美術Ⅱ	2									②
	書道Ⅰ	2		②	②	②	②				②
	書道Ⅱ	2									②
芸術合計		0	2	2	2	2	0	0	0	2	0
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	3								
	英語コミュニケーションⅡ	4		5	4	4	5				
	英語コミュニケーションⅢ	4						5	4	4	5
	論理・表現Ⅰ	2	2								
	論理・表現Ⅱ	2		3	2	2	3				
	論理・表現Ⅲ	2						3	2	2	3
	英語演習*		(1)								
	英語合計		5	8	6	6	8	8	6	6	8
家庭	家庭基礎	2	2								
	家庭合計		2	0	0	0	0	0	0	0	0
情報	情報Ⅰ	2	2								
	情報合計		2	0	0	0	0	0	0	0	0
小計		29	33	29	29	33	24	23	23	24	
総合的な探究の時間	3~6	1	1	1	1	1	1	2	2	1	
合計		30	34	30	30	34	25	25	25	25	

特別活動 HR 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

○数字は選択必修科目 ()内は自由選択科目 *は学校設定科目

●3か年履修単位数

選抜・進学	文Ⅰ	89
	文Ⅱ	85
	文Ⅲ	85
	理	89
国士館大学進学	進学文	74
	進学理	78

卒業認定は74単位以上

- ・1年の体育3単位のうち、1単位は武道を行う。
- ・HRは学校行事等を含む。
- ・総合的な探究の時間は学校行事等を含む。
- ・1年の自由選択科目は土曜日に行う。
- ・2年文Ⅰ・理系は土曜日必修授業とする。
- ・地歴の選択必修(日本史探究・世界史探究)は2・3年同じ科目を選択する。
- ・3年理科演習は、物理・化学・生物のいずれか1つを選択できる。
- ・次年度以降の選択科目については、変更する場合がある。

令和5年度 高等学校使用教科書

教科	種目	発行者	教科書名	学年
国語	現代の国語	数研	高等学校 現代の国語	1年
	言語文化	数研	高等学校 言語文化	1年
	論理国語	東書	精選論理国語	2年
	文学国語	東書	文学国語	2年
	古典探究	東書	精選古典探究 (古文編・漢文編)	2年
	理系国語	東書	精選論理国語	2年
	現代文B	数研	改訂版 現代文B	3年
	古典B	数研	改訂版 古典B (古文編・漢文編)	3年
地歴	地理総合	帝国	高等学校 新地理総合	1年
	歴史総合	山川	歴史総合 近代から現代へ	1年
	地図	帝国	新詳高等地図	1年
	日本史探究	山川	詳説 日本史	2年
	世界史探究	山川	詳説 世界史	2年
	日本史B	山川	詳説日本史 改訂版	3年
	世界史B	山川	詳説世界史 改訂版	3年
公民	公共	帝国	高等学校 公共	2年
	政治・経済	第一	高等学校 改訂版 政治・経済	3年
数学	数学Ⅰ	啓林館	新編 数学Ⅰ	1年
	数学A	啓林館	新編 数学A	1年
	数学Ⅱ	啓林館	数学Ⅱ	2年
		啓林館	新編 数学Ⅱ	2年
	数学B	啓林館	数学B	2年
	数学C	啓林館	数学C	2年
	数学Ⅲ	啓林館	数学Ⅲ 改訂版	3年
理科	化学基礎	東書	化学基礎	1年
	科学と人間生活	東書	科学と人間生活	2年
	物理基礎	啓林館	高等学校 物理基礎	2年
	生物基礎	東書	生物基礎	2年
		東書	改訂 生物基礎	3年
	化学	東書	化学 (Vol.1 理論編・Vol.2 物質編)	2年
		東書	改訂 化学	3年
	物理	啓林館	物理 改訂版	3年
生物	東書	改訂 生物	3年	
体育	保健体育	大修館	現代高等保健体育	1年
芸術	音楽Ⅰ	教芸	MOUSA 1	2年
	美術Ⅰ	光村	美術 1	2年
	書道Ⅰ	東書	書道Ⅰ	2年
	音楽Ⅱ	教芸	MOUSA 2	3年
	美術Ⅱ	光村	美術 2	3年
	書道Ⅱ	東書	書道Ⅱ	3年
情報	情報Ⅰ	実教	図説情報Ⅰ	1年
家庭	家庭基礎	実教	家庭基礎 気づく力 築く未来	1年
英語	英語コミュニケーションⅠ	啓林館	LANDMARK Fit English Communication I	1年
		啓林館	LANDMARK English Communication I	1年
	論理・表現Ⅰ	啓林館	Vision Quest English Logic and Expression I Standard	1年
	英語コミュニケーションⅡ	啓林館	LANDMARK Fit English Communication II	2年
		啓林館	ELEMENT English Communication II	2年
		啓林館	LANDMARK English Communication II	2年
	論理・表現Ⅱ	啓林館	Vision Quest English Logic and Expression II Hope	2年
	コミュニケーション英語Ⅲ	啓林館	LANDMARK Fit English Communication III	3年
		啓林館	Revised ELEMENT English Communication III	3年
		啓林館	Revised LANDMARK English Communication III	3年
英語表現Ⅱ		啓林館	Vision Quest English Expression II Hope	3年

教科	国語	科目	古典探究	授業 時数	週3時間	教材	東京書籍の精選古典探究	種別	高校
学年 組 類型	高等学校2年1組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月～6月	宇治拾遺物語『小野篁、広才のこと』			現代語訳を通して、本文の内容を理解する。				
	6月～7月	伊勢物語『初冠』			物語を通して、助動詞などの文法事項を理解する。				
		第1回定期試験							
夏 休 み									
前期	9月～10月	大和物語『姨捨』			登場人物の立場を理解し、心情を読み取り、 作品の内容を深く理解する				
後期	10月～11月	枕草子『九月ばかり』			随筆に書かれている情景や出来事を 的確にとらえる。				
	11月～12月	枕草子『雪のいと高う降りたるを』			内容を自分と関係づけながら、 ものの見方、感じ方、考え方を広げる。				
		第2回定期試験							
冬 休 み									
後期	1月	更級日記『門出』			日記を読み、作者の境遇や出来事を的確にとらえる。				
	2月～3月	蜻蛉日記『なげきつつひとり寝る夜』			作者のものの味方、感じ方、考え方を理解する。				
	2月～3月	防災に関する学習を取り入れる。							
		第3回定期試験							
備 考	第1回定期試験	『宇治拾遺物語』、『伊勢物語』							
	第2回定期試験	『姨捨』、『九月ばかり』、『雪のいと高う降りたるを』							
	第3回定期試験	『門出』、『なげきつつひとり寝る夜』							

教科	国語	科目	古典探求	授業 時数		週3時間		教材	精選古典探究 古文編・漢文編 (東京書籍)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校2年2組,4組(文系 I)										
	時期	項目			到達目標						
前期	4月～7月	説話 『小野篁、広才のこと』 漢文 『漱石枕流』 漢詩 『江南春』、『黄鶴楼』 歌物語 『伊勢物語』・月やあらぬ ※第一回定期テスト			歴史的背景、人物関係、敬語表現を理解する。 故事成語の成り立ちを学ぶ。 絶句と律詩を理解する。 歌物語を通して、和歌の修辞法や作者の感性・美意識について歴史的背景をおさえながら理解する。						
夏 休 み		課題を出す									
前期	9月	漢文 『史記』・鴻門之会 随筆 『方丈記』・安元の大火			中国の歴史的背景を理解する。 災害・防災に対するの作者の感じ方・考え方を理解する。						
後期	10月～12月	日記 『更級日記』・門出 物語 『源氏物語』・光源氏の誕生 ※第二回定期テスト			当時の女性の感じ方・考え方を理解する。 登場人物の置かれた立場・環境の把握を通して、その心情を読み取り、作品の内容を理解する。						
冬 休 み		課題を出す									
後期	1月～3月	漢文 『孟子』・仁人心也、義人路也 漢文 『荘子』・夢為胡蝶 歴史物語 『大鏡』・花山天皇の出家 ※第三回定期テスト			中国の思想を理解する。 当時の歴史的背景、人物関係を理解し読解する。						
		※小テストを実施。(単語、文法、古典常識等) ※大学入試問題、模擬試験問題等を活用して入試対策をしていく。 第一回定期試験 説話、歌物語、漢文、古文単語、文学史 第二回定期試験 随筆、日記、物語、漢文、古文単語、文学史 第三回定期試験 歴史物語、漢文、古文単語、文学史									

教科	国語	科目	古典探究	授業 時数	週3時間	教材	精選古典探究 【古文編】【漢文編】	種別	高校
学年 組 類型	高等学校2年5組～8組(文Ⅱ)								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	古典文法の復習			・1年次に学習をした、動詞の活用の種類、助動詞、助詞の確認。 ・文法のワークを使用。				
	5月	宇治拾遺物語 第四十九話「小野 篁 広才のこと」			・本文の現代語訳を通して、古文の理解力を養う。 ・本文を読み取りながら、助詞の復習をする。				
	6月	伊勢物語 第一段「初冠」 大和物語 第五十六段「姨捨(をばすて)」			・歌物語の特色を理解する。 ・「初冠」に出てくる男の行動を理解する。 ・複数の作品を読み比べ、ものの見方を考える。				
	7月	文学史「完成 日本文学史ノート」 第1回定期試験			・上代の歴史と文学概念を学ぶ。				
夏 休 み		夏季休暇課題 東洋大学 現代学生百人一首 神奈川大学 短歌							
前期	9月	方丈記 「安元の大火」 徒然草 「悲田院の堯蓮上人は」			・随筆に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえて、考えを深める。 ・「安元の大火」を通して、災害について学ぶ。				
後期	10月	漢詩 近体詩 「江雪」(柳宗元) 「江南春」(杜牧) 史記			・漢詩の形式を学び、漢詩の世界観を養う。 ・漢詩の「景」と「情」を理解する。 。長文に慣れ、登場人物の意図を理解する。				
	11月	「鴻門之会」「四面楚歌」			・作者「司馬遷」の哲学を学ぶ。				
	12月	文学史「完成 日本文学史ノート」 第2回定期試験			・中古の歴史と文学概念を学ぶ。				
冬 休 み									
後期	1月	源氏物語 「光源氏の誕生」			・作り物語の内容を読み取り、登場人物の行動や心理を捉え、使用されている敬語について理解する。				
	2月	更級日記 「門出」 蜻蛉日記 「なげきつつひとり寝る夜」			・日記を読み、作者の境遇や出来事を捉える。 ・作者のものの見方、考え方を理解する。				
	3月	文学史「完成 日本文学史ノート」 第3回定期試験			・中世の歴史と文学概念を学ぶ。				
春 休 み									
<p>★毎週1回、古文単語テストを行い、適宜入試対策も行う。</p> <p>★授業の進捗によっては、定期試験の範囲等の変更もある。</p> <p>★古典ワークを適宜使用し、単元の復習・確認に努める。</p> <p>第1回 定期試験範囲……『宇治拾遺物語』/『伊勢物語』/『大和物語』/『文学史「上代」』</p> <p>第2回 定期試験範囲……『方丈記』/『徒然草』/『漢詩』/『史記』/『文学史「中古」』</p> <p>第3回 定期試験範囲……『源氏物語』/『更級日記』/『蜻蛉日記』/『文学史「中世」』</p>									

教科	国語	科目	文学国語	授業 時数	週2時間	教材	文学国語(東京書籍)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校2年1組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月～7月	【随筆】「光の窓」小池昌代 【小説】「山月記」中島敦 第1回定期試験			・筆者のものの見方や感じ方を読み取り、言葉と感覚との関係について考える。 ・登場人物の心情を表現に即して把握し、主人公の内面と苦悩について考える。				
夏 休 み									
前期	9月	【評論】「詩と感情生活」鮎川信夫			・論の展開を踏まえて筆者の主張を捉え、詩の特質について考えを深める。				
後期	10月～12月	【詩】「鈇」三角みず紀 【詩】「竹」萩原朔太郎 【小説】「沖縄の手記から」田宮虎彦 防災について 第2回定期試験			・詩にどのような表現上の特徴があり、それがどのような効果を上げているかを理解する。 ・非常事態の中に生きる登場人物の生き方や考え方を捉え、人間の生と死について考えを深める。 ・災害時の人間の行動について考える。				
冬 休 み									
後期	1月～3月	【小説】「山椒魚」井伏鱒二 【小説】「鞆」安部公房 第3回定期試験			・登場人物の心情を理解しつつ、現代社会に生きる私たちが抱える問題について考える。 ・寓意に注意しながら小説を読み、「現代」という時代について考えを深める。				
備考	★授業の進度等によって、取り扱う作品や授業内容・定期試験の出題範囲等を変更することがある★ 【第一回試験範囲】「光の窓」/「山月記」 【第二回試験範囲】「詩と感情生活」/「鈇」/「竹」/「沖縄の手記から」 【第三回試験範囲】「山椒魚」/「鞆」								

教科	国語	科目	文学国語	授業 時数		週2時間		教材	教科書「文学国語」 (東京書籍)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校 2年2組,4組										
	時期	項目				到達目標					
前期	4月～7月	◇【随筆】「光の窓」小池昌代 ◇【小説】「山月記」中島敦 ◇【小説】「山椒魚」井伏鱒二 第1回定期試験				◇筆者のものの見方や感じ方を読み取り、言葉と感覚との関係について考える。 ◇登場人物の心情を表現に即して把握し、主人公の内面と苦悩について考える。 ◇登場人物の心情を理解しつつ、現代社会に生きる私たちが抱える問題について考える。					
夏休み		★課題				★別途指示する。					
前期	9月～11月	◇【小説】「こころ」夏目漱石				◇人間の関係性と心情を的確に捉え、人の心のありようについて考えを深める。					
後期	12月	◇【短歌】硝子の駒 第2回定期試験				◇短歌 歌の魅力を認識する。					
冬休み		★課題				★別途指示する。					
後期	1月～3月	◇【小説】「沖縄の手記から」田宮虎彦 ◇【小説】「鞆」安部公房 第3回定期試験				戦時下に生きる登場人物の言動や仕草などを鑑賞し、人間の生と死について考えを深める。あわせて、「防災教育」に資する内容とする。 寓意に注意しつつ、現代という時代に理解を深める。					
備考	★課題については別途指示する。 【第一回試験範囲】「光の窓」(随想)・「山月記」(小説)・「山椒魚」(小説) 【第二回試験範囲】「こころ」(小説)・「硝子の駒」(短歌) 【第三回試験範囲】「沖縄の手記から」(小説)・「鞆」(小説)										

教科	国語	科目	文学国語	授業 時数	週2時間	教材	文学国語	種別	高校
学年 組 類型	高等学校2年5組～8組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月～7月	◆【随筆】「光の窓」小池昌代 ◆【小説】「山月記」中島敦 第1回定期試験			・筆者のものの見方や感じ方を読み取り、言葉と感覚との関係について考える。 ・登場人物の心情を表現に即して把握し、主人公の内面と苦悩について考える。				
夏 休 み									
前期	9月	【評論】「詩と感情生活」鮎川信夫			・論の展開を踏まえて筆者の主張を捉え、詩の特質について考えを深める。				
後期	10月～12月	【詩】「鋏」三角みず紀 【詩】「竹」萩原朔太郎 【小説】「沖縄の手記から」田宮虎彦 防災について 第2回定期試験			・詩にどのような表現上の特徴があり、それがどのような効果を上げているかを理解する。 ・非常事態の中に生きる登場人物の生き方や考え方を捉え、人間の生と死について考えを深める。 ・災害時の人間の行動について考える。				
冬 休 み									
後期	1月～3月	【小説】「山椒魚」井伏鱒二 【小説】「鞆」安部公房 第3回定期試験			・登場人物の心情を理解しつつ、現代社会に生きる私たちが抱える問題について考える。 ・寓意に注意しながら小説を読み、「現代」という時代について考えを深める。				
備考	★授業の進捗等によって、取り扱う作品や授業内容・定期試験の出題範囲等を変更することがある★ 【第一回試験範囲】「光の窓」/「山月記」 【第二回試験範囲】「詩と感情生活」/「鋏」/「竹」/「沖縄の手記から」 【第三回試験範囲】「山椒魚」/「鞆」								

教科	国語	科目	論理国語	授業 時数	週3時間	教材	東京書籍 精選論理国語	種別	高校
学年 組 類型	高等学校2年1組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月～6月	ミロのヴィーナス			具体例に注目して筆者の主張を理解し、 芸術の見方について考える。				
	6月～7月	相手依存の自己規定 小論文			具体的な事例と筆者の意見の関係に注意して読み、 言語と自我の構造について考える。 課題文や資料の読み取り方を身につける。				
		第1回定期試験							
夏 休 み									
前期	9月～10月	メディアの変容			社会の変化と人間関係の変化に注意しながら 本文の内容を理解する。				
後期	10月～11月	「リスク」と「リスク社会」			対比に注意して展開をつかみ、				
	11月～12月	「である」と「すること」			「リスク」という概念について理解を深める。 例示と意見の関係を整理して主張をとらえ、 変化する社会における人間の在り方について考える。				
		第2回定期試験							
冬 休 み									
後期	1月～2月	消費されるスポーツ			「スポーツ」が何と関連づけて述べられているかに 注意して、本文の内容を理解する。				
	2月～3月	地図の想像力			筆者が地図に対する考えをどのように 展開しているか理解する。				
	2月～3月	防災に関する学習を取り入れる。							
		第3回定期試験							
備 考	第1回定期試験	『ミロのヴィーナス』『相手依存の自己規定』							
	第2回定期試験	『メディアの変容』『「リスク」と「リスク社会」』							
	第3回定期試験	『消費されるスポーツ』『地図の想像力』							

教科	国語	科目	論理国語	授業 時数	週3時間	教材	精選論理国語 (東京書籍)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校2年2組,4組								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の学習の仕方 短歌、俳句、読書感想文 小論文 				<ul style="list-style-type: none"> 楷書で書くことができる。 短歌と俳句の違いを理解する。また、読書感想文の基本の書き方を理解する。 課題型の小論文の書き方を理解する。 			
	4月下旬	<ul style="list-style-type: none"> 防災評論 山口明の防災評論「緊急地震速報の定着と限界」 				<ul style="list-style-type: none"> 防災評論を読み取り、防災への理解を深める。 			
	～5月中旬	<ul style="list-style-type: none"> 評論〈芸術〉 清岡卓行「ミロのヴィーナス」 				<ul style="list-style-type: none"> なぜミロのヴィーナスが両腕を失っていなければならなかったのかを読み取り、新たな発見をする。 			
	5月中旬	<ul style="list-style-type: none"> ～6月上旬 評論〈社会〉 神里達博「リスク」と「リスク社会」 				<ul style="list-style-type: none"> 「リスク」という言葉に注意し、近代という時代の根本的な性質を社会的な視点から読み取り、理解する。 			
	6月中旬	<ul style="list-style-type: none"> ～6月下旬 共通テスト過去問演習 第1回定期試験までに漢字テストを数回実施する 第1回定期試験 				<ul style="list-style-type: none"> 共通テスト問題の解法を知る。 			
夏 休 み	夏期休暇課題				<ul style="list-style-type: none"> 俳句 短歌 読書感想文 				
前期	9月	<ul style="list-style-type: none"> 小論文 				<ul style="list-style-type: none"> 基本の構成のパターンを確認し、課題文を正確に読み取ることができる。小論文の知識を、論理的文章の読み取りに活かすことができる。 			
	9月～10月	<ul style="list-style-type: none"> 評論〈近代〉 丸山真男「である」と「すること」 				<ul style="list-style-type: none"> 具体例と筆者の主張との関係に注意して読み取り、近代社会を捉え直す視点を持つ。 			
後期	10月	<ul style="list-style-type: none"> 評論〈近代〉 丸山真男「である」と「すること」 				<ul style="list-style-type: none"> 具体例と筆者の主張との関係に注意して読み取り、近代社会を捉え直す視点を持つ。 			
	11月	<ul style="list-style-type: none"> 評論〈メディア〉 若林幹夫「地図の想像力」 共通テスト過去問演習 第2回定期試験までに漢字テストを数回実施する 第2回定期試験 				<ul style="list-style-type: none"> 地図観の違いについての論の展開に注意し、イメージしながら読み取ることができる。 共通テスト問題の解法を知る。 			
	冬 休 み	冬期休暇課題							
後期	1月	<ul style="list-style-type: none"> 小論文 評論〈科学〉 小川真里子 科学的「発見」とは 				<ul style="list-style-type: none"> 基本の構成のパターンを確認し、課題文を正確に読み取ることができる。小論文の知識を、論理的文章の読み取りに活かすことができる。 本文中の中心的な「問い」と「主張」は何かを明確に読み取り、科学的な発見とはどういうことかを理解する。 小見出しに注意しながら読み取り、筆者が「環境」を考える上で重要だと述べていることを理解する。 共通テスト問題の解法を習得する。 			
	2月	<ul style="list-style-type: none"> 評論〈環境〉 上柿崇英 「環境」とは何か 共通テスト過去問演習 第3回定期試験までに漢字テストを数回実施する 第3回定期試験 							
試験 範囲	<ul style="list-style-type: none"> 第1回定期試験範囲: 評論〈芸術〉 清岡卓行「ミロのヴィーナス」、 評論〈社会〉 神里達博「リスク」と「リスク社会」、他。 第2回定期試験範囲: 評論〈近代〉 丸山真男「である」と「すること」、 評論〈メディア〉 若林幹夫「地図の想像力」、他。 第3回定期試験範囲: 評論〈科学〉 小川真里子 科学的「発見」とは、 評論〈環境〉 上柿崇英 「環境」とは何か、他。 								

教科	国語	科目	論理国語	授業 時数	週3時間	教材	精選論理国語 (東京書籍)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校2年5組～8組								
時期		項目				到達目標			
前期	4月	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の学習の仕方 短歌、俳句、読書感想文 小論文 				<ul style="list-style-type: none"> 楷書で書くことができる。 短歌と俳句の違いを理解する。また、読書感想文の基本的書き方を理解する。 課題型の小論文の書き方を理解する。 防災評論を読み取り、防災への理解を深める。 			
	4月下旬 ～5月下旬 6月	<ul style="list-style-type: none"> 防災評論 山口明の防災評論「緊急地震速報の定着と限界」 評論〈芸術〉 清岡卓行「ミロのヴィーナス」 評論〈社会〉 神里達博「リスク」と「リスク社会」 第1回定期試験までに漢字テストを数回実施する <p style="text-align: center;">第1回定期試験</p>				<ul style="list-style-type: none"> なぜミロのヴィーナスが両腕を失っていなければならなかったのかを読み取り、新たな発見をする。 「リスク」という言葉に注意し、近代という時代の根本的な性質を社会的な視点から読み取り、理解する。 			
夏 休 み	夏期休暇課題								
前期	9月	<ul style="list-style-type: none"> 小論文 評論〈近代〉 丸山真男「である」と「すること」 				<ul style="list-style-type: none"> 基本の構成のパターンを確認し、課題文を正確に読み取ることができる。小論文の知識を、論理的文章の読み取りに活かすことができる。 具体例と筆者の主張との関係に注意して読み取り、近代社会を捉え直す視点を持つ。 			
	10月 11月	<ul style="list-style-type: none"> 評論〈近代〉 丸山真男「である」と「すること」 評論〈メディア〉 若林幹夫「地図の想像力」 第2回定期試験までに漢字テストを数回実施する <p style="text-align: center;">第2回定期試験</p>				<ul style="list-style-type: none"> 具体例と筆者の主張との関係に注意して読み取り、近代社会を捉え直す視点を持つ。 地図観の違いについての論の展開に注意し、イメージしながら読み取ることができる。 			
冬 休 み	冬期休暇課題								
後期	1月	<ul style="list-style-type: none"> 小論文 評論〈科学〉 小川真里子 科学的「発見」とは 				<ul style="list-style-type: none"> 基本の構成のパターンを確認し、課題文を正確に読み取ることができる。小論文の知識を、論理的文章の読み取りに活かすことができる。 本文中の中心的な「問い」と「主張」は何かを明確に読み取り、科学的な発見とはどういうことかを理解する。 			
	2月	<ul style="list-style-type: none"> 評論〈環境〉 上柿崇英 「環境」とは何か 第3回定期試験までに漢字テストを数回実施する <p style="text-align: center;">第3回定期試験</p>				<ul style="list-style-type: none"> 小見出しに注意しながら読み取り、筆者が「環境」を考える上で重要だと述べていることを理解する。 			
春 休 み	<ul style="list-style-type: none"> 第1回定期試験範囲: 評論〈芸術〉 清岡卓行「ミロのヴィーナス」、 評論〈社会〉 神里達博「リスク」と「リスク社会」 第2回定期試験範囲: 評論〈近代〉 丸山真男「である」と「すること」、 評論〈メディア〉 若林幹夫「地図の想像力」 第3回定期試験範囲: 評論〈科学〉 小川真里子 科学的「発見」とは、 評論〈環境〉 上柿崇英 「環境」とは何か 								

教科	国語	科目	理系国語	授業 時数	週2時間	教材	精選論理国語 (東京書籍)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校2年2組(理系) 2年3組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	『小論文』			<ul style="list-style-type: none"> ・小論文の構成を知る。 ・小論文の書き方、原稿用紙の使い方を知る。 ・小論文における表現を知る。 				
	5月	『ミロのヴィーナス』 清岡卓行			<ul style="list-style-type: none"> ・芸術の見方について考える。 ・具体例に注目して、筆者の主張を理解する。 				
	6月	『「リスク」と「リスク社会」』 神里達博			<ul style="list-style-type: none"> ・リスクとは何かを考え、理解する。 ・具体例、対比に注目して本文の展開をつかむ。 				
	7月	第1回定期試験			【防災について】 <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのリスクについて考える。 ・リスクを回避する(防ぐ)方法を考える。 				
夏 休 み		俳句 短歌 読書感想文							
前期	9月	『地図の想像力』 若林幹夫			<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の地図に対する考えを読み取る。 ・提示された地図に注目して、本文の展開を捉える。 				
後期	10月～11月	『「である」と「すること」』 丸山真男			<ul style="list-style-type: none"> ・社会の変化、人間の在り方について考える。 ・具体例と筆者の意見に注目して、主張を捉える。 				
	12月	第2回定期試験							
冬 休 み									
後期	1月	『「環境」とは何か』 上柿崇英			<ul style="list-style-type: none"> ・環境について考え、理解する。 ・文章の構成、関係に注目して筆者の主張を捉える。 				
	2月	『日本人の美意識』 高階秀爾			<ul style="list-style-type: none"> ・日本と西洋の文化の違いを理解する。 ・図、具体例、対比に注目してそれぞれの特徴を捉える。 				
	3月	第3回定期試験							
備考		第1回定期試験 範囲『小論文』/『ミロのヴィーナス』/『「リスク」と「リスク社会」』 第2回定期試験 範囲『地図の想像力』/『「である」と「すること」』 第3回定期試験 範囲『「環境」とは何か』/『日本人の美意識』 パーフェクト常用漢字を使用して、小テストを実施する。							

教科	公民	科目	公共	授業 時数		週2時間		教材	高等学校 公共 (帝国書院)	種別	高校	
学年 組 類型	高等学校2年1組～8組											
	時期	項目				到達目標						
前期	4月	第1部 第3章 私たちの社会の基本原則 第1節 社会の基本原則と憲法の考え方 3. 日本国憲法				<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法と明治憲法を比較し、現憲法の基本原則を理解。 ・それぞれの権利の内容を理解する。 ・それぞれの権利の内容を理解する。 ・それぞれの権利の内容を理解する。 ・それぞれの権利の内容を理解する。 ・それぞれの権利の内容を理解する。 						
	5月	4. 平等に生きる権利										
	6月	5. 自由に生きる権利① 6. 自由に生きる権利②										
		7. 人間らしく生きる権利										
	7月	8. 広がる人権の考え方 9. 人権保障の国際的な広がり 第1回定期試験（試験範囲: 上記単元項目）										試験範囲 教科書P50～68
夏 休 み												
前期	9月	第1部 第2章 私たちと政治 防災学習①				<ul style="list-style-type: none"> ・公共に関する内容を踏まえて、防災について学ぶ。 ・国会、内閣のしくみについて理解する。 						
		2. 議院内閣制と国会										
後期	10月	3. 権力分立と地方自治				<ul style="list-style-type: none"> ・裁判所、地方自治のしくみについて理解する。 ・日本の政党政治、選挙について理解する。 						
	11月	5. 政党政治とメディア 6. 選挙制度とその課題										
	12月	第2回定期試験（試験範囲: 上記単元項目）										試験範囲 教科書P94～112
冬 休 み												
後期	1月	(第1部 第2章 私たちと政治) 防災学習②				<ul style="list-style-type: none"> ・公共に関する内容を踏まえて、防災について学ぶ。 ・領土問題、国際連合の役割について理解する ・地域紛争と人種問題、国際社会での日本の役割を理解する。 						
		2. 日本の主権と領土 5. 国際連合の役割と活動										
		2月	6. 紛争とテロリズム 8. 国際協力と日本の役割									
			第3回定期試験（試験範囲: 上記単元項目）									試験範囲 教科書P114～129(のうち単元項目箇所)
3月												

教科	地理・歴史	科目	日本史探求	授業 時数	週4時間	教材	詳説日本史B (山川出版社)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校2年1組								
時期		項目			到達目標				
前期	4月	院政と平氏の台頭			院政期の政治と社会、平氏政権について学習する				
	5月	鎌倉幕府の成立			鎌倉幕府初期について学習する。				
	6月	武士の社会			北条氏による執権政治がおこなわれた時代の政治・社会・外交について学習する。				
	7月	鎌倉文化 室町幕府の成立			鎌倉新仏教について学習する。 建武の新政、室町幕府成立期の政治・社会について学習する。				
	7月	※各時代の文化については、プリント等で確認			院政と平氏の台頭～室町時代の農業・商業の発達				
		第一回定期試験							
夏 休 み		問題演習プリント・予習プリント			夏休みの課題				
前期	9月	応仁の乱			戦国期の幕開けをつける応仁の乱について学習する。				
		室町時代の農業・商工業の発達 戦国大名の登場・織豊政権 幕藩体制の成立			室町期の農業・経済について、鎌倉期と比較しながら学習する。 戦国期、信長・秀吉の時代の政治・社会について学習する。 江戸幕府初期の支配体制・外交について学習する。				
後 期	10月	幕藩社会の構造			江戸時代初期の社会・経済について学習する。				
	11月	幕政の安定			元禄期・正徳の治、当時の経済について学習する。				
	12月	江戸時代の経済			江戸期の農業・商工業について学習する。 一揆・応仁の乱～江戸時代の経済				
		第二回定期試験							
冬 休 み		問題演習プリント・予習プリント			冬休みの課題				
後 期	1月	幕政の改革			享保の改革・田沼時代の政治・経済・外交について学習する。				
	2月	幕政の衰退と近代への道			寛政・天保の改革を中心に、当時の外交についても学習する。				
		天保の改革			天保期の改革や鎖国の動揺について学習する。 ※三大飢饉から防災について考える				
	3月	近代国家の成立			幕末の政治・外交から明治初期の政治について学習する。 享保の改革～地租改正まで				
		第三回定期試験							
春 休 み		自宅学習			各自の進度に応じて問題演習を行う				

教科	地理・歴史	科目	日本史探求	授業 時数	週3時間	教材	詳説日本史B (山川出版社)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校2年2組, 4組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	文化の始まり			旧石器時代、縄文時代の人々の暮らしについて学習する。				
		農耕社会の成立			弥生時代の人々の暮らし、邪馬台国について学習する。				
	5月	古墳とヤマト政権			古墳文化の移り変わり、ヤマト政権の政治・外交・				
		飛鳥の朝廷			人々の暮らしについて学習する。				
	6月	飛鳥の朝廷			推古朝の政治・文化について学習する。				
	7月	律令国家への道			大化の改新から大宝律令制定までの政治について学習する。				
		第一回定期試験			旧石器時代～律令国家への道				
夏 休 み		問題演習			実際に問題を解き 出題形式に慣れる				
前期	9月	平城京の時代			奈良時代の政治・外交、藤原氏の政界進出について学習する。				
		平安王朝の形成			平安時代前期の政治・社会、平安仏教について学習する。				
後期	10月	摂関政治			藤原北家の発展・摂関政治について学習する。				
	11月	地方政治の展開と武士			地方政治・荘園・源氏の進出について学習する。				
	12月	院政と平氏政権			院政について理解する。				
		第二回定期試験			平城京の時代～院政と平氏政権				
冬 休 み		問題演習プリント・予習プリント			冬休みの課題				
後期	1月	鎌倉幕府の成立			※防災学習を実施する。				
	2月	モンゴル襲来と幕府の衰退							
	3月	建武の新政・南北朝の動乱							
		第三回定期試験			(鎌倉幕府の成立～南北朝の動乱)				
春 休 み		自宅学習			各自の進度に応じて問題演習を行う				

教科	地理・歴史	科目	日本史探求	授業 時数		週3時間		教材	詳説日本史B (山川出版社)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校2年5組～8組(選択)										
	時期	項目			到達目標						
前期	4月	文化の始まり 農耕社会の成立			旧石器時代、縄文時代の人々の暮らしについて学習する。 弥生時代の人々の暮らし、邪馬台国について学習する。						
	5月	古墳とヤマト政権			古墳文化の移り変わり、ヤマト政権の政治・外交・ 人々の暮らしについて学習する。						
	6月	飛鳥の朝廷			推古朝の政治・文化について学習する。						
	7月	第一回定期試験			旧石器時代～飛鳥時代						
夏 休 み		問題演習プリント・予習プリント			夏休みの課題						
前期	9月	飛鳥の朝廷 律令国家への道			推古朝の政治・文化について学習する。 大化の改新から大宝律令制定までの政治について学習する。						
	10月	平城京の時代 平安王朝の形成			奈良時代の政治・外交、藤原氏の政界進出について学習する。 平安時代前期の政治・社会、平安仏教について学習する。						
後 期	11月	第二回定期試験			飛鳥時代～平安前期						
	12月										
冬 休 み		問題演習プリント・予習プリント			冬休みの課題						
後 期	1月	摂関政治 地方政治の展開と武士			藤原北家の発展・摂関政治について学習する。 地方政治・荘園・源氏の進出について学習する。 ※防災学習を実施する。						
	2月	第三回定期試験			摂関政治～源氏の進出						
	3月										
春 休 み		自宅学習			各自の進度に応じて問題演習を行う						

教科	地理・歴史	科目	世界史探求	授業 時数		週3時間	教材	詳説世界史探究 (山川出版)	種別	高校	
学年 組 類型	高等学校2年2組,4組(選択)										
	時期	項目			到達目標						
前期	4月	先史の世界・古代オリエント世界			・人類が築き上げた諸文明を学び、それらを基に地域世界を形成したことを把握させる。 ・西アジア世界の地理的特色とオリエント文明の変遷を理解する。						
	5月	古代ギリシア世界			・地中海の風土を把握し、ギリシア・ヘレニズム文明の特質を理解する						
	6月	古代ローマ世界・キリスト教			・都市国家から大帝国へと発展したローマ文明の変遷を理解する						
	7月	ゲルマン人の侵入・ヨーロッパ世界の形成			・ゲルマン人侵入以後の西ヨーロッパの動きを理解する						
	第1回定期試験										
夏 休 み	8月	自宅学習・課題			・主題学習に取り組む						
前期	9月	ヨーロッパ世界の形成と発展			・ビザンツ帝国の繁栄と周辺諸民族の動向を理解する						
後期	10月	西ヨーロッパ中世社会の変容			・教皇権と中世社会の衰退から、ヨーロッパ世界がどのように変化したのかを考える						
	11月	ヨーロッパ世界の拡大			・時代背景から、ヨーロッパ人の世界観を考える ・ヒューマニズムが与えた影響について考察する						
	12月	ルネサンス・宗教改革 ヨーロッパの主権国家体制の形成 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 フランス革命とナポレオン			・主権国家の誕生と、それに伴う各国間の諸問題に関して考える ・フランス革命とナポレオンが、ヨーロッパ世界に与えた近代化の影響に関して考える						
	第2回定期試験										
冬 休 み	自宅学習・課題			・主題学習に取り組む							
後期	1月	世界史と防災			・世界の転換期に存在する災害を学び、防災の重要性を考える						
		欧米における近代国民国家の発展 ウィーン体制の成立			・ウィーン体制のもと、自由主義的改革が続いたことと工業化が大陸に広がったことを理解する						
	2月	南北アメリカの発展・19世紀欧米の文化			・19世紀、アメリカ合衆国が大陸国家を形成し、さらに国民国家の形成へ至る過程を理解する						
	第3回定期試験										
春 休 み	自宅学習・課題			・主題学習に取り組む							
19世紀のヨーロッパ・年度総復習											

教科	地理・歴史	科目	世界史探求	授業 時数	週3時間	教材	詳説世界史探究 (山川出版)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校2年5,6,7組(選択)								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	先史の世界・古代オリエント世界			・人類が築き上げた諸文明を学び、それらを基に地域世界を形成したことを把握させる。 ・西アジア世界の地理的特色とオリエント文明の変遷を理解する。				
	5月	古代ギリシア世界			・地中海の風土を把握し、ギリシア・ヘレニズム文明の特質を理解する				
	6月	古代ローマ世界・キリスト教			・都市国家から大帝国へと発展したローマ文明の変遷を理解する				
	7月	ゲルマン人の侵入・ヨーロッパ世界の形成 第1回定期試験			・ゲルマン人侵入以後の西ヨーロッパの動きを理解する 古代オリエント～ヨーロッパ世界の形成				
夏 休 み	8月	自宅学習・課題			・主題学習に取り組む				
前期	9月	ヨーロッパ世界の形成と発展			・ビザンツ帝国の繁栄と周辺諸民族の動向を理解する				
後期	10月	西ヨーロッパ中世社会の変容			・教皇権と中世社会の衰退から、ヨーロッパ世界がどのように変化したのかを考える				
	11月	ヨーロッパ世界の拡大 ルネサンス・宗教改革			・時代背景から、ヨーロッパ人の世界観を考える ・ヒューマニズムが与えた影響について考察する				
	12月	ヨーロッパの主権国家体制の形成 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 フランス革命とナポレオン 第2回定期試験			・主権国家の誕生と、それに伴う各国間の諸問題に関して考える ・フランス革命とナポレオンが、ヨーロッパ世界に与えた近代化の影響に関して考える ヨーロッパ世界の形成～フランス革命				
冬 休 み		自宅学習・課題			・主題学習に取り組む				
後期	1月	世界史と防災 欧米における近代国民国家の発展 ウィーン体制の成立			・世界の転換期に存在する災害を学び、防災の重要性を考える ・ウィーン体制のもと、自由主義的改革が続いたことと工業化が大陸に広がったことを理解する				
	2月	南北アメリカの発展・19世紀欧米の文化			・19世紀、アメリカ合衆国が大陸国家を形成し、さらに国民国家の形成へ至る過程を理解する				
	3月	第3回定期試験			19世紀のヨーロッパ・年度総復習				
春 休 み		自宅学習・課題			・主題学習に取り組む				

教科	数学	科目	数学Ⅱ	授業 時数	週2時間	教材	啓林館 新編数学Ⅱ	種別	高校
学年 組 類型	高等学校2年1組, 5組～8組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	第1章 式と証明 第1節 整式の乗法・除法と分数式			整式の乗法・除法の計算と原理を理解させる。 整式の計算を除法や分数式に拡張し、整式の四則を完成する。				
	5月	第2節 等式・不等式の証明			等式・不等式の性質を理解し、式の証明ができるようにする。				
	6月	第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式			数の範囲を複素数に拡張し四則演算ができるようにする。 複素数の範囲に拡張した2次方程式を解けるようにする。				
		第2節 因数定理と高次方程式			因数定理を用いて高次方程式を解けるようにする。				
	7月	第1回定期試験							
夏 休 み									
前期	9月	第3章 図形と方程式 第1節 点と直線			2点間の距離や内分点・外分点を求められるようにする。 直線の方程式について理解させそれを求められるようにする。				
後 期	10月	第2節 円			円の方程式について理解させ、それを求められるようにする。				
	11月	第3節 軌跡と領域			軌跡の概念を理解させ軌跡を求められるようにする。 不等式の表す領域を図示できるようにする。				
	12月	第2回定期試験							
冬 休 み									
後 期	1月	第4章 三角関数 第1節 一般角の三角関数			角を一般角に拡張し、三角関数の性質を理解させグラフをかけるようにする。				
	2月	第2節 三角関数の加法定理			加法定理を理解させ、三角方程式を解けるようにする。				
	3月	第3回定期試験			防災に関連付けた内容を授業に取り入れる。				
春 休 み									

教科	数学	科目	数学Ⅱ	授業 時数	週4時間	教材	啓林館 数学Ⅱ	種別	高校
学年 組 類型	高等学校2年2組, 3組, 4組								
	時期	項目		到達目標					
前期	4月	第1章 式と証明・方程式 第1節 多項式の乗法・除法と分数式 第2節 式と証明		整式の乗法・除法の計算と原理を理解させる。 整式の計算を除法や分数式に拡張し、整式の四則を完成する。 等式・不等式の性質を理解し、式の証明ができるようにする。					
	5月	第3節 複素数と2次方程式 第4節 高次方程式		数の範囲を複素数に拡張し四則演算ができるようにする。 複素数の範囲に拡張した2次方程式を解けるようにする。 因数定理を用いて高次方程式を解けるようにする。					
	6月	第2章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円と直線		2点間の距離や内分点・外分点を求められるようにする。直線の方程式について理解させそれを求められるようにする。 円の方程式について理解させ、それを求められるようにする。					
	7月	第3節 軌跡と領域 第1回定期試験		軌跡の概念を理解させ軌跡を求められるようにする。 不等式の表す領域を図示できるようにする。					
	夏休み								
前期	9月	第3章 三角関数 第1節 一般角の三角関数		角を一般角に拡張し、三角関数の性質を理解させグラフをかけるようにする。					
後期	10月	第2節 三角関数の加法定理		加法定理を理解させ、三角方程式を解けるようにする。					
	11月	第4章 指数関数と対数関数 第1節 指数と指数関数 第2節 対数と対数関数		指数の基本的な性質を理解し計算ができるようにする。 指数関数のグラフをかけるようにする。 指数の方程式・不等式を解けるようにする。 対数の基本的な性質を理解し計算ができるようにする。 対数関数のグラフをかけるようにする対数の方程式・不等式を解けるようにする。					
	12月	第2回定期試験							
冬休み									
後期	1月	第5章 微分と積分 第1節 微分係数と導関数		微分係数から導関数に発展させ計算ができるようにする。					
	2月	第2節 導関数の応用 第3節 積分		関数の増減から極大・極小、および最大・最小を調べ関数のグラフをかけるようにする。 不定積分の定義を理解して、計算ができるようにする。 定積分の性質や公式を理解して、計算ができるようにする。 平面図形の面積を定積分を用いて求めることができることを理解させ、面積を求められるようにする。					
	3月	第3回定期試験		防災に関連付けた内容を授業に取り入れる。					
春休み									

教科	数学	科目	数学B	授業 時数	週2時間	教材	啓林館 数学B	種別	高校
学年 組 類型	高等学校2年2組, 3組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	第1章 数列			数列の概念の導入後、等差数列と等比数列について理解させる。 Σの使い方、自然数の平方の和、階差数列、 いろいろな数列の第n項の和などを理解させる。 漸化式の意味を理解し、漸化式で定義される数列の一般項を求められるようにし、数列の和を例として数学的帰納法を学ぶ。				
		第1節 等差数列・等比数列							
	5月	第2節 いろいろな数列							
		第3節 漸化式と数学的帰納法							
	6月								
	7月								
		第1回定期試験							
夏 休 み									
前期	9月								
後期	10月	第2章 確率分布と統計的な推測			確率変数、確率分布の意味を理解させ確率変数の平均、分散、標準偏差を求められるようにする。 二項分布の意味を理解させ二項分布の平均、分散、標準偏差を求められるようにする。 連続的な確率変数と確率分布の平均と分散を求められるようにする。 正規分布の活用を学び近似を使って確率を求められるようにする。				
		第1節 確率分布							
	11月	第2節 正規分布							
	12月								
		第2回定期試験							
冬 休 み									
後期	1月	第3節 統計的な推測			母集団と標本について学び平均、分散、標準偏差を求められるようにする。 母平均の推定や仮設検定を学び事象についての検定を行えるようにする。				
	2月								
		第3回定期試験			防災に関連付けた内容を授業に取り入れる。				
春 休 み									

教科	数学	科目	数学C	授業 時数	週2時間	教材	啓林館 数学C	種別	高校
学年 組 類型	高等学校2年2組, 3組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月 5月 6月 7月	第1章 ベクトル 第1節 平面上のベクトルとその演算 第2節 ベクトルと平面図形 第1回定期試験			ベクトルを定義しベクトルの計算法則を理解させる。ベクトルの成分表示を定義し基本演算の成分表示が出来るようにする。ベクトルの内積を定義し内積の成分表示、内積の計算法則を理解させる。 位置ベクトルを定義し、内分点・外分点・三角形の重心・垂心の位置ベクトルを理解させ媒介変数表示とベクトル方程式を理解させる。				
夏休み									
前期	9月	第3節 空間のベクトル			空間の概念を理解させ、座標を用いて2点間の距離を求められるようにする。空間ベクトルも平面上と同じような計算法則が成り立つことを理解させる。内積を定義しベクトルのなす角が成分より求まることを理解させる。				
後期	10月 11月 12月	第2章 複素平面 第1節 複素平面 第2節 平面図形と複素数 第2回定期試験			空間においても位置ベクトルが定義できることを説明し、直線上と平面上の点の位置ベクトルを求めさせる。 複素数を座標平面上の点で表すことにより、複素数平面を考える。この平面上で複素数の和や差、実数倍の図形的性質を調べる。				
冬休み									
後期	1月 2月	第3章 平面上の曲線 第1節 2次曲線 第2節 媒介変数表示と極座標 第3回定期試験			楕円、双曲線、放物線の方程式の基本性質を理解させる。2次曲線と直線の共有点を知る。図形の平行移動を確認する。 曲線の媒介変数表示、曲方程式による曲線を理解させる。 防災に関連付けた内容を授業に取り入れる。				
春休み									

教科	理科	科目	物理基礎	授業 時数	週2時間	教材	物理基礎 (啓林館)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校2年2組(理系), 3組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	第1部 物体の運動とエネルギー 第1章 物体の運動			身近に起こる様々な運動を客観的にとらえる。 速さ(スカラー)と速度(ベクトル)の違いを理解する。				
	5月	色々な運動様式, 速さと速度			直線的な運動を定式化し, 任意の時刻における速度や距離などを予測できるようにする。直線運動の発展として, 放物運動について理解する。				
	6月	加速度, 落下運動							
	7月	第1回定期試験							
夏 休 み									
前期	9月	第2章 力と運動 力, 運動の法則, 圧力と浮力			力(ベクトル)の表し方, 種類, 単位について, 力の合成と分解, 力のつり合いについて理解する。 ニュートンの運動の三法則について理解し, 任意の運動に関しての運動方程式を立てられるようにする。 力学的エネルギーの保存について学ぶ。				
	10月	第3章 仕事とエネルギー 仕事, 仕事率, 運動エネルギー, 位置エネルギー			エネルギーの概念について理解を深める。仕事, 仕事率の定義と計算の仕方について学ぶ。				
後期	11月	弾性エネルギー, エネルギー保存則			運動する物体がもつエネルギー, 重力場にある物体が潜在的に有するエネルギー, ばねによってつながれた物体が有するエネルギーを定式化する。				
	12月	第2回定期試験			津波(物体)のエネルギーはいかに大きいものかを簡単なモデルを仮定して計算する。				
冬 休 み									
後期	1・2月	第2部 物理現象とエネルギー 第1章 熱とエネルギー 熱と温度, 気体の状態変化, エネルギーの変換と保存			熱の概念, 温度の定義, 比熱と熱容量の違いなどについて理解する。熱量の保存や物体そのものがもつエネルギー(内部エネルギー)の概念について理解を深める。				
	3月	第3回定期試験			エネルギーの変換と保存について理解を深める。				
春 休 み									

教科	理科	科目	生物基礎	授業 時数	週2時間	教材	生物基礎 (東京書籍)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校2年2組(理系), 3組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	生物の多様性と共通性			生物の分類と共通性を学び、細胞の構造と働きを理解する。				
		生物とエネルギー			呼吸と光合成におけるエネルギーATPのはたらきを理解する。				
	5月	遺伝情報とDNA			生物における遺伝子とDNAについて学ぶ。				
	6月	遺伝情報とタンパク質			DNAの塩基配列をもとに運ばれるアミノ酸とその結合によってできるタンパク質について理解する。				
	7月	体内環境と情報伝達			体液による恒常性維持活動について科学的な態度で学習する。				
		第1回定期試験			→授業進度により範囲の変更有り				
夏 休 み									
前期	9月	体内環境と情報伝達			体液による恒常性維持活動について科学的な態度で学習する。				
後期	10月	体内環境と情報伝達			腎臓と肝臓のはたらきや神経系、ホルモンによる体内環境維持のメカニズムを学ぶ。				
	11月	免疫のはたらき			体内の免疫作用について学び生体防御システムを理解する。				
	12月	免疫のはたらき			神経系とホルモンのはたらきから体内環境調節のメカニズムを学ぶ				
		第2回定期試験			→授業進度により範囲の変更有り				
冬 休 み									
後期	1月	植生と遷移			植生分布の外観と分類について理解する。				
	2月	生態系と生物の多様性			世界中のバイオーム分布を知り植生分布の種類を知る。				
	3月	生態系と生物の多様性			生態系の変化における人の防災について学ぶ。				
		第3回定期試験			→授業進度により範囲の変更有り				
春 休 み									

教科	理科	科目	化学	授業 時数	週3時間	教材	化学Vol.1理論編 化学Vol.2物質編 (東京書籍)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校2年2組(理系), 3組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	第3編 物質の変化(化学基礎) 2章 酸と塩基			酸と塩基、中和の復習を行い、中和の量的関係、滴定の器具、操作について学ぶ。				
	5月	3章 酸化還元反応			酸化還元反応における量的関係について、電子の授受との関係性を理解しながら学ぶ。				
	6月	第2編 化学反応とエネルギー(化学) 2章 電池と電気分解			酸化還元反応の応用例として電池を取り上げる。実用電池の種類と用途について学ぶ。				
	7月	第1回定期試験			電池の逆反応として電気分解を取り上げ、その原理を理解する。ファラデーの法則を学ぶ。電池を利用した防災グッズを用い、防災に関する授業を行う。				
夏 休 み	化学基礎全て・7月までの化学範囲の総復習課題								
前期	9月	第1編 物質の状態(化学Vol.1) 1章 物質の状態 2章 気体の性質			物質の三態と、気液間の状態変化を理解する。 ポイル・シャルルの法則、および気体の状態方程式を学び、気体の体積、温度、圧力の関係を理解する。				
	10月 11月	3章 溶液の性質 4章 固体の構造 第2回定期試験			溶解のしくみを学び、溶解度、濃度を使いこなせるようにする。希薄溶液の性質、コロイドの性質を理解する。 さまざまな結晶を通し、固体中の粒子がどのような配列構造をとるのか学ぶ。				
冬 休 み	9～12月までの化学範囲の総復習課題								
後期	1月	第2編 化学反応とエネルギー 1章 化学反応と熱・光			物質に固有のエネルギー(化学エネルギー)が存在することを認識し、エネルギーの変化をエンタルピーを用いて表せるようにする。化学反応に伴い熱の出入りが生じることを理解する。				
	2月 3月	第3回定期試験							
	春 休 み	化学 第1編, 2編の総復習課題							

教科	理科	科目	科学と人間生活	授業 時数	週2時間	教材	科学と人間生活 (東京書籍)	種別	高校
学年 組 類型	全日制:2年1, 2, 4~8組 定時制:2年1組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月 5月 6月 7月	1編 生命の科学 1章 微生物とその利用 2章 ヒトの生命現象 ブタの目の解剖実験(iPadにてレポート) 第1回定期試験			身の回りの微生物が私たちの生活とどのようにかわり、 利用されているのか学び、理解する。 iPadを利用し、調べ学習を行う 生命活動の中で、身体や臓器がどのような活動を行っているのかを理解する。				
夏 休 み									
前期	9月	4編 宇宙や地球の科学 2章 自然景観と自然災害			身近な自然景観のなりたちについて学び理解する。 自然災害と防災への取り組みについて学び理解する。 災害と防災について各個人で調査研究し、プレゼンを行い、 調べたものをまとめ、伝える能力を身につける。				
後期	10月 11月 12月	1章 太陽と地球 第2回定期試験			地球規模での水や空気の循環を学び、そこから気象災害が起るメカニズムや地球環境についての理解や考えを深める。				
冬 休 み									
後期	1月 2月 3月	3編 光や熱の科学 1章 光の性質とその利用 2章 熱の性質とその利用 第3回定期試験			光の性質、光の種類について学び理解する。 動植物が光をどう利用し、生活しているのか学び理解する。 熱とは何か、またエネルギーとは何かを学び理解する。 世界が直面する深刻なエネルギー不足について学び、 これからの社会に求められるエネルギー観を身につける。				
春 休 み									

教科	保健体育	科目	体育	授業 時数	週2時間	教材	ステップアップ高校スポーツ (大修館書店)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校2年1組(男子)								
時期		項目			到達目標				
前 期	3週	【ガイダンス】 ・授業説明 ・集団行動 【体づくり運動】 <新体力テスト> 握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・50m走・20mシャトルラン・立ち幅跳び・ハンドボール投げ			【防災教育】 「生命を守る」ことにおいて体育と防災教育は共通することを理解する。 各種目を通して体育で育成される体力・運動能力を、災害から身を守る行動に役立てる。 集団行動のおもな行動様式を身に付け、機敏・的確に行動する。 集団の約束やきまりを守り、お互いに協働して行動する。 体力・運動能力の状態を確かめるためのテスト。この結果をよく分析して、不足している能力を高めるためにいろいろなスポーツ活動に親しみ、心身を鍛錬して健康で充実した生活が送れるようにする。				
	6週	【走り高跳び】 1) 踏み切り動作、跳躍力、踏み切り 2) 空中動作(ベリーロール) 3) 助走～踏み切り～空中姿勢～着地 (スムーズな一連の動きとリズム) 4) 試験			助走を生かした踏み切りや、バーを越える技能を高め、自分の記録に挑戦したり、競争しあって記録を高める。				
後 期	7週	【サッカー】 1) 基本的技能 ①リフティングおよび各種のキック ②パス練習(グリッド内での3対1、4対2) ③ドリブル、シュートの練習 2) 集団的技能 ①ミニゲーム(3対3、5対5の攻防) ②ミニゲーム(7対7の攻防) 3) ゲーム・ルール			個人的な技能を身に付け、発展的に集団としての技能および戦術を習得する。また、同時にルールの理解も実施する。個人・チームの習熟度により作戦を立ててゲームができるようにする。				
	7週	【バスケットボール】 1) 個人的技能 ①ドリブル各種 ②シュート各種 ③移動しながらのパス 2) 集団的技能 ①アウトナンバーでの攻防 (2対1、3対2) ②マンツーマンディフェンスでの攻防 (3対3、5対5) 3) ゲーム			個人的技能をもとに、攻撃や防御の戦術をチームで工夫・協力し、意図的に変化に富んだゲームができるようにする。				

教科	保健体育	科目	体育	授業 時数	週2時間	教材	ステップアップ高校スポーツ (大修館書店)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校2年2組～8組(男子)								
	時期	項目				到達目標			
前 期	年天候など の条件によ り内容実 行内容が 変わること もあり、実 施内容の 順番が異 なります。	<p>【ガイダンス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業説明 ・集団行動 <p>【体づくり運動】</p> <p><新体力テスト></p> <p>握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・50m走・20mシャトルラン・立ち幅跳び・ハンドボール投げ</p> <p>【走り高跳び】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 踏み切り動作、跳躍力、踏み切り 2) 空中動作(ベリーロール) 3) 助走～踏み切り～空中姿勢～着地 (スムーズな一連の動きとリズム) 4) 試験 				<p>【防災教育】</p> <p>「生命を守る」ことにおいて体育と防災教育は共通することを理解する。 各種目を通して体育で育成される体力・運動能力を、災害から身を守る行動に役立てる。</p> <p>集団行動のおもな行動様式を身に付け、機敏・的確に行動する。 集団の約束やきまりを守り、お互いに協働して行動する。</p> <p>体力・運動能力の状態を確かめるためのテスト。この結果をよく分析して、不足している能力を高めるためにいろいろなスポーツ活動に親しみ、心身を鍛錬して健康で充実した生活が送れるようにする。</p> <p>助走を生かした踏み切りや、バーを越える技能を高め、自分の記録に挑戦したり、競争しあって記録を高める。</p>			
後 期		<p>【サッカー】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 基本的技能 <ul style="list-style-type: none"> ① リフティングおよび各種のキック ② パス練習(グリッド内での3対1、4対2) ③ ドリブル、シュートの練習 2) 集団的技能 <ul style="list-style-type: none"> ① ミニゲーム(3対3、5対5の攻防) ② ミニゲーム(7対7の攻防) 3) ゲーム・ルール <p>【バスケットボール】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 個人的技能 <ul style="list-style-type: none"> ① ドリブル各種 ② シュート各種 ③ 移動しながらのパス 2) 集団的技能 <ul style="list-style-type: none"> ① アウトナンバーでの攻防 (2対1、3対2) ② マンツーマンディフェンスでの攻防 (3対3、5対5) 3) ゲーム 				<p>個人的な技能を身に付け、発展的に集団としての技能および戦術を習得する。また、同時にルールの理解も実施する。個人・チームの習熟度により作戦を立ててゲームができるようにする。</p> <p>個人的技能をもとに、攻撃や防御の戦術をチームで工夫・協力し、意図的に変化に富んだゲームができるようにする。</p>			

教科	保健体育	科目	体育	授業 時数	週2時間	教材	ステップアップ高校スポーツ (大修館書店)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校2年2組～8組(女子)								
	時期	項目			到達目標				
前 期	天候などの条件により内容が異なります。実施内容の順番が異なります。	<p>【ガイダンス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業説明 ・集団行動 <p>【体づくり運動】</p> <p><新体力テスト></p> <p>握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・50m走・20mシャトルラン・立ち幅跳び・ハンドボール投げ</p> <p>【ダンス】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 基本的運動 <ul style="list-style-type: none"> ・歩く、回る、止まる、走る、跳ぶなどの基本的な運動の習得。 2) モチーフ作り <ul style="list-style-type: none"> ・伸びる、縮むなどの動きを合わせ、1群で同方向、2～3群で方向、時間を変える。 3) 動作の連続 <ul style="list-style-type: none"> ・フレーズ作りと変化・発展的な動きを生かし、少人数による作品作り。 4) 試験 			<p>【防災教育】</p> <p>「生命を守る」ことにおいて体育と防災教育は共通することを理解する。 各種目を通して体育で育成される体力・運動能力を、災害から身を守る行動に役立てる。 集団行動のおもな行動様式を身に付け、機敏・的確に行動する。 集団の約束やきまりを守り、お互いに協働して行動する。</p> <p>体力・運動能力の状態を確かめるためのテスト。この結果をよく分析して、不足している能力を高めるためにいろいろなスポーツ活動に親しみ、心身を鍛錬して健康で充実した生活が送れるようにする。</p> <p>グループごとに題材のイメージにふさわしい動きを表現できることと、表現力豊かに気持ちを込めて踊ることができるようにする。</p>				
後 期		<p>【ハードル走】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ハードリング(振り上げ足、抜き足) 2) インターバル走(リズム) 3) 試験 <p>【バレーボール】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 基本的技能 <ul style="list-style-type: none"> ・パス(1対1、円陣パス) ・サーブ ・スパイク 2) 集団的技能 <ol style="list-style-type: none"> ① 攻撃 <ul style="list-style-type: none"> ・レシーブ～トス～スパイク(三段攻撃) ② 防御 <ul style="list-style-type: none"> ・サービスレシーブからの攻撃 ・チャンスボールからの攻撃 ・ブロック 3) ゲーム形式による練習 4) ゲーム <p>【卓球】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 基本的技能 <ul style="list-style-type: none"> ・ストローク(フォア、バック) ・サービス ・スマッシュ ・ラリーゲーム 2) 集団的技能 <ul style="list-style-type: none"> ・パートナーとの連携を考えた打球 ・フットワークを活用したゲーム 3) ゲーム 			<p>インターバルの技術を身につけたり、ハードリングの技能を高めながら、自分の記録に挑戦したり競争し合って記録を高める。</p> <p>基本的な技能を身に付け、サービスレシーブからトス、スパイクを使った三段攻撃ができるようにする。 また、ブロックやチャンスボールからの攻撃技能を身に付け、ゲームができるようにする。</p> <p>自分や相手の特徴に応じた作戦を立て、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、各種ストローク、サービスなどの安定したボール操作を巧みに使い、ゲームを展開できるようにする。</p>				

教科	保健体育	科目	保健	授業 時数	週1時間	教材	現代高等保健体育 (大修館書店)	種 別	高校										
学年 組 類型	高等学校2年1組～8組																		
時期	項目				到達目標														
前 期	4月	<ガイダンス> 2単元 安全な社会生活 4. 応急手当の意義とその基本 5. 日常的な応急手当 6. 心肺蘇生法			【防災教育】 応急手当の意義について説明できる。 傷病者を発見したときに、確認・観察するポイントをあげることができる。 日常的なけがや熱中症の応急手当の手順や方法について説明できる。 実際に、日常的なけがや熱中症の応急手当ができる。 心肺蘇生法の方法と手順について説明できる。 実際に、心肺蘇生法をおこなうことができる。														
	5月																		
	6月																		
	7月	【第1回 定期試験】																	
	夏休み		レポート課題																
前 期	9月	5. 避妊法と人工妊娠中絶			家族計画の意義と適切な避妊法について説明できる。 人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について説明できる。														
後 期	10月	6. 結婚生活と健康 7. 中高年期と健康			心身の発達と結婚生活の関係について説明できる。 結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動をあげることができる。 加齢ともなう心身の変化について例をあげて説明できる。 高齢化社会に必要な社会的な取り組みについて例をあげて説明できる。														
	11月																		
	12月	8. 働くことと健康 9. 労働災害と健康 10. 健康的な職業生活 【第2回 定期試験】			働くことの意義と健康とのかかわりについて説明できる。 働き方や働く人の健康問題の変化について説明できる。 労働災害の種類とその原因について例をあげて説明できる。 労働災害を防止するために必要なことをあげることができる。 職場がおこなう健康に関する取り組みについて例をあげて説明できる。 余暇を積極的にとることの意義について説明できる。														
										冬休み									
後 期	1月	4単元 健康を支える環境づくり 1. 大気汚染と健康 2. 水質汚濁、土壌汚濁と健康			大気汚染の原因と健康への影響について例をあげて説明できる。 大気にかかわる地球規模の健康問題について例をあげて説明できる。 水質汚濁、土壌汚濁の原因とその健康影響を説明できる。 大気、水、土壌にまたがる複合的な環境汚染の発生のしくみについて説明できる。														
	2月																		
	3月	3. 環境と健康にかかわる対策 4. ごみの処理と上下水道の整備 5. 食品の安全性 6. 食品衛生にかかわる活動 7. 保健サービスとその活用 【第3回 定期試験】			環境汚染による健康被害を防ぐ方法について説明できる。 産業廃棄物の処理について説明できる。 ごみの処理の現状やその課題について説明できる。 上下水道のしくみと健康にかかわる課題を説明できる。 食品の安全性と健康とのかかわりについて説明できる。 食品の安全性に関する今日的課題について説明できる。 食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割について説明できる。 食品の安全性を確保するための個人の役割について説明できる。 保健行政の役割について例をあげて説明できる。 保健サービスの活用の例をあげることができる。														
										春休み									

教科	保健体育	科目	武道(剣道)	授業 時数		週1時間		教材		種別	高校
学年 組 類型	高等学校2年1組～8組(選択)										
時期		項目				到達目標					
前期	4月	《ガイドンス》 2年次の授業内容・学習のねらい				武道の特性である礼に始まり礼に終わるなどから礼儀正しくお互いに相手を尊重する心を養う。着装、防具のつけ方に留意して身だしなみに気をつける。					
	5月	切り返し				動きの中から正しい姿勢、正しい打ちを身につける。					
	6月	基本打ち…面・小手・胴 小手面・小手胴二段打ち 小手面胴三段打ち				打突前の集中力と打突後の残心を徹底させる。 正しい姿勢で全身を使って打ち切る。					
	7月	試験				小手面・小手面胴三段打ち					
夏 休 み											
前期	9月	災害時の武道場からの避難経路確認、身の守り方				安全な経路の確認、自助について学ぶ					
		木刀による剣道基本技稽古法… 基本1・2・3				基本稽古法で礼法・姿勢・間合い・理合い・呼吸を学ばせる。元立ちと掛手の意味、役割を理解させる。仕掛け技を覚える。					
後期	10月	基本4・5・6				引き技・抜き技・擦り上げ技を正しく覚える。					
	11月										
	12月	試験				基本1・2・3・4・5・6					
冬 休 み											
後期	1月	基本7・8・9				出ばな技・返し技・打ち落とし技を正しく覚える。					
	2月										
	3月	試験				木刀による剣道基本稽古法… 基本1～9					
春 休 み											

教科	保健体育	科目	武道(柔道)	授業 時数	週1時間	教材	柔道教本 (共栄出版)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校2年1組～8組(選択)								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	学習のねらい			「精神善用・自他協栄」という柔道の精神を学び、その意義を日常生活に生かす態度を養う。基本動作を確実に身につけ、さらに発展させ個々に応じて対人的、技能を図る。また、禁止技を用いないなどの禁止事項を守り、安全に留意する態度を養う。全て安全最優先で行う。				
	5月	柔道の歴史			投げ込みの練習はお互い呼吸を合わせ、取は引き手を引く、受は取が投げやすいように受ける。				
	6月	投げ技→背負い投げ(一本背負い投げ)を含む・大外刈り・足技			取は動きながら技に入るタイミングや安全に留意して投げ込みを行う。				
	7月	約束練習			送足払い・大外刈り 相手に配慮する投げ方・受身の取り方・を評価する。				
	7月	試験							
夏 休 み									
前期	9月	災害時の武道場からの避難経路確認、身の守り方			安全な経路の確認、自助について学ぶ				
		投げ技(大内刈り)			崩しの原理をしっかりと理解して行う。				
		背負い投げ・体落とし・大外刈り 復習・応用			投げ込みの練習はお互い呼吸を合わせ、取は引き手を引く、受は取が投げやすいように受ける。				
		自由練習の復習、確認							
後期	10月	投げ技→連絡技			崩しの原理をしっかりと理解して行い、安全に留意して投げる。				
		大内刈り→背負い投げ			自由練習はお互い呼吸を合わせ、取は引き手を引く、受は取が投げやすいように受ける。				
		大内刈り→体落とし			大内刈り→背負い投げ相手に配慮をする投げ方、受け方・連絡のタイミングを評価する。				
	11月	自由練習の復習、応用			崩しの原理をしっかりと理解して行い、安全に留意して投げる。				
		試験			連絡技へのタイミングを覚える。				
	12月	投げ技→連絡技							
		大内刈り→背負い投げ							
		大内刈り→体落とし							
冬 休 み									
後期	1月	自由練習(乱取り)			初めは約束稽古を行い少しずつ強度を上げて行えるようにする。(受け身は正確にする)安全最優先で行わせる。				
		寝技							
		立技							
	2月	ルールについて			ルールと禁止技を理解する。				
		一年間の復習・応用							
	3月	試験			授業で習った技の中から技を指定して相手に配慮をする。投げ方・受身の取り方を評価する。				
春 休 み									

教科	芸術	科目	音楽	授業 時数	週2時間	教材	MOUSA 1 (教育芸術社)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校2年1組～8組								
時期	項目				到達目標				
前期	オリエンテーション 歌唱「館歌」 歌唱「負けないで」 歌唱「夏の思い出」 楽典Ⅰ「音部記号,拍子記号,音名」 楽典Ⅱ「音符と休符,反復記号」 楽典Ⅲ「変化記号,異名同音,音階」 オーケストラを知ろう 実技試験 筆記試験				国士館生として、館歌について深く理解しながら歌唱する。 拍子によって、響きのある声で歌唱する。 歌い継がれた日本の歌を、言葉を大切に歌唱する。 音楽の基礎知識を身につける。 楽器の分類や特徴を理解し、響きの関わりを感じ取る。				
後期	歌唱「島唄」 歌唱「小さな空」 映画音楽の世界「千と千尋の神隠し」 鑑賞「ケルティック・チャイルド」 器楽合奏 災害時における音のはたらき 発表 実技試験 筆記試験				歌詞の意味を理解し、感情を込めて歌唱する。 和音の変化を感じ取り、情景を思い浮かべて歌唱する。 映画における音楽の効果を分析する。 作品の作曲背景と吹奏楽の響きの関わりを感じ取る。 自分のパートの役割を理解して演奏する。 防災と音の関わりについて学ぶ。				
年間	鑑賞「Sing」 鑑賞「グレイテスト・ショーマン」 鑑賞「千と千尋の神隠し」				動画と音楽の関わりを感じ取る。				

教科	芸術	科目	美術 I	授業 時数		週2時間	教材	美術 I (光村図書出版)	種別	高校	
学年 組 類型	高等学校2年1組～8組										
時期	項目				到達目標						
前期	4月	モノ作りについて				日常生活におけるモノ作りについて学習する。					
	5月										
	6～7月	平面と立体について				平面と立体での表現について学習する。					
夏 休 み											
前期	9月	「防災」をテーマに作品を制作する									
後 期	10月～12月	「音」をテーマに作品を制作する				平面・立体・映像など、「音」を表現する様々な媒体について学習する。					
冬 休 み											
後 期	1月～3月	技法・技術を学ぶ				伝統工芸・コラージュ・金属加工など、様々な技法、技術を学習する。					
					<使用画材・教材> アクリル絵具・筆・画用紙・スタイロフォーム・金属加工道具・木工道具 等						

教科	芸術	科目	書道 I	授業 時数	週 2 時間	教材	2 東京書籍 書 I 701	種別	高校
学年 組 類型	高等学校2年1組～8組								
	時期	項目				到達目標			
前期	4月	書写から芸術書道へ。姿勢と執筆法。 基本点画の練習用具用材。漢字仮名交じりの書。さまざまな書。執筆法。表現と鑑賞。 防災に関する内容を扱う。				芸術書道に親しむ。 体験的学習活動を通じて書を愛好する心情を育む。執筆法、姿勢の確認。線の表情の認識。			
	5月	漢字の書。書体の変遷。楷書とその古典。唐の四大家。臨書について。表現と鑑賞。				書之美を探る。 基本的用筆と表現方法。臨書の理解。楷書の理解。露鋒、藏法、背勢、向勢の理解。			
	6月	楷書の臨書。表現と鑑賞。唐の四大家。日本の楷書。				それぞれの古典の持つ特徴の理解。拡大表現による表情の違いを認識。			
	7月	楷書の臨書。表現と鑑賞。日本の楷書。				時代背景・特徴をとらえ、様々な表現力を養う。			
夏 休 み		鑑賞。				日常の中での様々な書体を知る。			
前期	9月	行書とその古典。行書の臨書。表現と鑑賞。				それぞれの古典の持つ特徴の理解。			
後 期	10月	行書とその古典。行書の臨書。草書、隸書、篆書。				それぞれの古典の持つ用筆法と特徴の理解。			
	11月	草書、隸書、篆書。				様々な書体の特徴を理解し、表現力を養う。			
	12月	仮名の書。平仮名と変体仮名。連綿。 仮名の古典。 表現と鑑賞。				仮名の成立過程の理解。逆入れ、平出し、藏法、八分、50音というは歌の違い。基本線の反復練習。変体仮名の理解。単体の反復練習。			
冬 休 み		鑑賞。				日常の中での様々な書体を知る。			
後 期	1月	仮名の書。連綿。 仮名の古典。 表現と鑑賞。				連綿線の反復練習。表現方法と中心線の役割の理解。			
	2月	漢字仮名交じりの書。表現と鑑賞。				漢字の線質と平仮名の線質との調和と工夫、そしてその基本的関係の理解。題材による情景の表現。用具用材による表現の違い。日常生活に書を生かす。			
春 休 み									

教科	英語	科目	英語コミュニケーションⅡ	授業 時数	週 4 時間	教材	LANDMARK Fit II	種別	高校
学年 組 類型	高等学校2年1組								
時期		項目			到達目標				
前期	4月	Lesson1 A Swedish Girl's Discoveries in Japan			○海外の視点から見た日本の不思議について必要な情報を読み取り、漫画の内容について自分の考えを伝える力をつける。				
	5月	Lesson2 A Message from Emperor Penguins			○コウテイペンギンの生態について必要な情報を読み取り、関心のある動物について自分の考えを伝える力をつける。				
	6月	Lesson3 Tokyo's Seven-minute Miracle			○新幹線の清掃員の仕事の様子とその仕事に対する考えについて必要な情報を読み取り、日本の誇れることについて自分の考えを伝える力をつける。				
	7月	第一回定期試験(Lesson 1,2,3)							
夏休み	7月	夏休みの課題			まとめ問題				
	8月								
前期	9月	Lesson4 Seeds for the Future ◎英検対策			○タネの保全のための活動と取り組みについて必要な情報を読み取り、自分の関心があることについて自分の考えを伝える力をつける。 ◎英語検定一次試験に向けた、筆記試験やリスニング問題演習を行い合格を目指す。				
後期	10月	Lesson5 Gaudi and His Messenger			○ガウディと外尾悦郎さんについて必要な情報を読み取り、歴史的建造物について発表できる力をつける。				
	11月	Lesson6 Edo: A Sustainable Society			○江戸時代の持続可能な社会について必要な情報を読み取り、自分たちが無駄にしているものについて発表できる力をつける。				
	12月	SDGs06 第二回定期試験(Lesson 4,5,6)			○防災に関する学習を行い、「生きる力」を育む。				
冬休み	12月	冬休みの課題			まとめ問題				
	1月								
後期	1月	Lesson7 Biodiesel Adventure: From Global to Global			○山田周生さんの取り組みについて必要な情報を読み取り、住み続けられるまちづくりのための取り組みについて発表できる力をつける。				
	2月	Lesson8 Our Future with AI			○AIとその活用について必要な情報を読み取り、自分たちの未来について発表できる力をつける。				
	3月	第三回定期試験(Lesson 7,8)							
春休み	3月	春休みの課題			2年生の復習				
備考	副教材として次のものを授業で使用する。			Workbook/サブノート スタディサプリEnglish					

教科	英語	科目	英語コミュニケーションⅡ	授業 時数		週5時間		教材	ELEMENT English Communication Ⅱ	種別	高校
学年 組 類型	高等学校2年2組～4組										
時期		項目				到達目標					
前期	4月	Lesson 2 Power of Words				◇ 4技能を育成 ① 教材のリスニングセクションを随時実施。補助教材「スタディサプリENGLISH」をタブレットにて使用。 ② 教材の音声を利用しリピート、シャドーイングを行う。WPMを意識しながら、情報処理能力を高める。補助教材『SKYWARD OCEAN Course 最新入試英語長文20選』を使用。 ③ 週1回のALTの授業で日常英会話を習得する。教材は『Speak Now 1』を使用。補助で英検やGTECの教材をタブレットで使用し、アウトプットの練習を行う。 ④ 各単元でリテリングを行い、自分の言葉で内容を説明する力を養う。					
	5月	Lesson 3 Preconception									
	6月	5月中旬 GTEC Basic/Advanced									
	7月	Lesson 4 The Century of War 第1回定期試験									
夏休み	8月	〈夏休み課題・夏期講習〉				◇ 検定 ① 実用英語技能検定で準2級～2級の取得 ・語彙力を養う。 → 『でる順 パス単2級』の内容を朝学習で1日40～50単語のテスト実施。 ・リスニング力を養う。 → ロイロノートとヘッドホンを使用し、多様な問題に取り組む。 ・実践力を養う。 → 課題や授業内で過去問に取り組み、時間配分や得手不得手を見直し自己修正する。					
前期	9月	Lesson 5 How Our Minds Work				② GTEC Basic CEFR A2.1～B1への到達 ・リスニング力、スピーキング力を養う。 → GTECの教材を基本として、ロイロノートとヘッドホンを使用し、多様な問題に取り組む。 ・実践力を養う。 → 課題や授業内で過去問に取り組み、時間配分や得手不得手を見直し自己修正する。					
後期	10月	Lesson 6 IT and Life 10月6日(金) 実用英語技能検定 10月中旬 GTEC Basic/Advanced									
	11月	Lesson 7 Advances in Medical Technology									
12月	第2回定期試験				◇ 防災 ・Lesson4終了後、本文の内容を発展させ、防災について扱う						
冬休み		〈冬休み課題〉									
後期	1月	Lesson 8 Tiny Step, a Big Impact				◇ 防災 ・Lesson4終了後、本文の内容を発展させ、防災について扱う					
	2月										
	3月	第3回定期試験									
春休み		〈春休み課題〉									

教科	英語	科目	英語コミュニケーションⅡ	授業 時数	週 4時間	教材	LANDMARK English Communication II	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校2年5組～8組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	Lesson 1 A Swedish Girl's Discoveries in Japan スウェーデン女子の日本発見			○海外の視点から見た日本の不思議について書かれた文章を読み、補語になる分詞のSVOC(Cが分詞)と補語になる分詞のSVCの意味や構造を理解する。				
	5月	Lesson 2 A Message from the Emperor Penguins コウテイペンギンからのメッセージ			○コウテイペンギンの生態について書かれた文章を読み、比較級を使用した最上級の表現や未来完了、比較を使用した構文の意味や構造を理解する。				
	6月								
	7月	◎防災に関する授業 第一回定期試験(Lesson 1,2)							
夏 休 み	7月	夏休みの課題			まとめ問題				
	8月				スタディサプリENGLISH 中高生英会話コース				
前期	9月	Lesson 3 Tokyo's Seven-minute Miracle 東京の7分間の奇跡			○新幹線の清掃員の仕事の様子とその仕事に対する考えについて書かれた文章を読み、強調のための倒置や形式目的語のitの意味や構造を理解する。 ◎英語検定一次試験に向けた、筆記試験やリスニング問題演習を行い合格を目指す。				
後 期	10月	Lesson 4 Seeds for the Future 未来への種			○種の保全のための取り組みについて書かれた文章を読み、付帯状況を表すwithや使役動詞の意味や構造を把握する。				
	11月	Lesson 5 Language Change over Time 言語の経年変化			○時間とともに変化する言葉について書かれた文章を読み、感想・意見・理由などを尋ねる疑問視で始まる疑問文、同格のthatの意味や構造を理解する。				
	12月	第二回定期試験(Lesson 3,4,5)							
冬 休 み	12月	冬休みの課題			まとめ問題				
	1月								
後 期	1月	Lesson 6 Gaudi and His Messenger ガウディとその伝言者			○ガウディと外尾悦郎さんについて書かれた文章を読み、受動態の分詞構文やifを使わない仮定法の意味や構造を理解する。				
	2月	Lesson 7 Letters from a Battlefield 戦場からの手紙			○戦場からの手紙について書かれた文章を読み、副詞節を導く複合関係代名詞や完了不定詞の意味や働きを理解する。				
	3月	第三回定期試験(Lesson 6,7)							
春 休 み	3月	春休みの課題			2年生の復習				
備 考	副教材として次のものを使用する。			1 LANDMARK English Communication II サブノート 2 LANDMARK English Communication II WORKBOOK 3 スタディサプリENGLISH 中高生英会話コース					

教科	英語	科目	論理表現Ⅱ	授業 時数		週2時間		教材	Vision Quest E.E. I・II 英語構文90	種別	高校
学年 組 類型	高等学校2年1組										
時期		項目				到達目標					
前期	4月	Lesson 8 動名詞				動名詞を使って適切に英文を書くことができる。 文化に関する会話を読んで理解することができる。					
	5月	2 不定詞を含む構文				to不定詞を含む構文を覚える。 不定詞を含む構文を聞き取れるようにする。					
	6月	Lesson 9 分詞				分詞、分詞構文を使って適切に英文を書くことができる。					
		4 動名詞を含む構文				動名詞を含む構文を覚える。 動名詞を含む構文を聞き取れるようにする。					
	7月	3 分詞を含む構文				分詞を含む構文を覚える。 分詞を含む構文を聞き取れるようにする。					
	7月	第1回定期試験									
夏 休 み	8月										
前期	9月	Lesson 10 関係詞				関係詞を使って適切に英文を書くことができる。					
		Lesson 11 比較				比較を使った表現を正しく身につける。					
後 期	10月	Lesson 12 仮定法				仮定法を用いて事実と違うことや実際には起こりえないことを英文で書くことができる。					
	11月	1 Itを含む構文 / 6 否定構文 / 10 比較構文				It to構文等、Itを含む構文、否定構文、比較を覚える。 Itを含む構文、否定構文を聞き取れるようにする。					
	12月	5 関係詞を含む構文				関係詞を含む構文を覚える。 関係詞を含む構文を聞き取れるようにする。					
		第2回定期試験									
冬 休 み											
後 期	1月	Lesson 1 主語を決める				主語を決めて英文を構成する。					
	2月	7 助動詞を含む構文 / 8 仮定法を含む構文				助動詞、仮定法を含む構文を覚える。 助動詞、仮定法を含む構文を聞き取れるようにする。					
		Lesson 2 動詞を決める① 【自他動詞, 文型】				自動詞と他動詞を理解する。					
3月	9 接続詞を含む構文 / 11 譲歩構文				接続詞を含む構文および譲歩構文を覚える。 接続詞を含む構文および譲歩構文を聞き取れるようにする。						
	3月	第3回定期試験									
備 考						・防災に関する内容を授業内で取り入れる。					

教科	英語	科目	論理表現Ⅱ	授業 時数		週3時間		教材	Vision Quest English Logic and Expression II Hope	種別	高校
学年 組 類型	高等学校2年2組～4組										
時期	項目		到達目標								
前期	4月	『Vision Quest English Logic and Expression I Standard』 ※1年生からの継続使用テキスト	◇「聞くこと」、「書くこと」の力を育成 ① 構文は、聞き取り意味を英語として理解する力をつけるため、『英語構文90』の音声やリスニングセクションを使用。会話表現は『Vintage』の音声を使用。 ② 教材をベースとして、短い文から英語の文構造を理解し、アウトプットする。段階的にロジカルなライティングを実施。補助教材として『リード問題集A』を使用。 ◇ 検定 ① 実用英語技能検定で準2級～2級の取得 ・ 語彙力を養う。 → 『でる順 パス単2級』の内容を朝学習で1日40～50単語のテスト実施。 ・ リスニング力を養う。 → ロイロノートとヘッドホンを使用し、多様な問題に取り組む。 ・ 実践力を養う。 → 課題や授業内で過去問に取り組み、時間配分や得手不得手を見直し自己修正する。 ② GTEC Basic CEFR A2.1～B1への到達 ・ リスニング力、スピーキング力を養う。 → GTECの教材を基本として、ロイロノートとヘッドホンを使用し、多様な問題に取り組む。 ・ 実践力を養う。 → 課題や授業内で過去問に取り組み、時間配分や得手不得手を見直し自己修正する。								
	5月	Lesson 9 〈分詞〉 Digital media has come a long way.									
	6月	Lesson 10 〈関係詞〉 That's why I decided to go back.									
	7月	Lesson 11 〈比較〉 Which do you prefer, cheaper beans or more expensive ones? Lesson 12 〈仮定法〉 I think it's a good idea. 第1回定期試験									
夏休み	8月	〈夏休み課題・夏期講習〉									
前期	9月	『Vision Quest English Expression II Hope』 Lesson 1 適切な主語を用いる What is your future goal?									
後期	10月	Lesson 2 適切な動詞を用いる What school events do you have?									
	11月	Lesson 3 時を表す Who is the best athlete?									
	12月	Lesson 4 義務・必要・推量を表す Is social media safe? 第2回定期試験									
冬休み		〈冬休み課題〉									
後期	1月	Lesson 5 情報を加える(1) How does overusing energy affect us?	◇ 防災 ・Lesson4終了後、本文の内容を発展させ、防災について扱う								
	2月	Lesson 6 情報を加える(2) What are some differences?									
	3月	第3回定期試験									
春休み		〈春休み課題〉									

教科	英語	科目	論理・表現Ⅱ	授業 時数		週2時間		教材	Vision Quest English Expression I / II	種別	高校
学年 組 類型	高等学校2年5組～8組										
時期		項目				到達目標					
前期	4月	『Vision Quest English Expression I Standard』				<ul style="list-style-type: none"> ・防災に関する内容を授業内で取り入れる。 ・動名詞の用法と働きを理解し、適切に表現ができる。 ・名詞を修飾する用法、補語になる用法を使うことができ、分詞構文を適切に用いて表現することができる。 					
	5月	※1年生からの継続使用テキスト Lesson 8 〈動名詞〉									
	6月	Lesson 9 〈分詞〉 〈分詞構文〉									
	7月	第1回定期試験									
夏休み	8月	〈夏休み課題・夏期講習〉									
前期	9月	Lesson 10 〈関係詞〉				<ul style="list-style-type: none"> ・関係詞を用いた複文を作り、語句を限定したり補足説明を加えたりできる。 ・複数のものを比較することで、物事の状態をわかりやすく伝えることができる。 					
		Lesson 11 〈比較〉									
後期	10月	Lesson 12 〈仮定法〉				<ul style="list-style-type: none"> ・仮定法を用いて事実と違うことや実際には起こり得ないことを述べることができる。 ・10月実施の英検高校2年生全員受験に向けて英語力を向上させる。 ・日本語に惑わされることなく、適切な主語を選択して英文を作ることができる。 					
	11月	『Vision Quest English Expression II Hope』 Lesson 1 適切な主語を用いる									
	12月	第2回定期試験									
冬休み		〈冬休み課題〉									
後期	1月	Lesson 2 適切な動詞を用いる				<ul style="list-style-type: none"> ・適切な動詞を決定し、適切に英文を構成することができる。 ・適切な時制を用いて、正しい英文を構成することができる。 ・助動詞の使い方を理解し、助動詞を用いた文を作ることができる。 					
	2月	Lesson 3 時を表す									
	3月	Lesson 4 助動詞 第3回定期試験									
春休み		〈春休み課題〉									
備考		副教材として次のものを授業で使用する。				『Vision Quest English Expression II Hope NEW WORKBOOK』 『英語構文90』 / 『高校リード問題集 英文法A』					